

第16回OCHISセミナー 11月2日

3年ぶりに対面で開催へ

健康起因事故のさらなる背景探る

ライブ配信も

運輸業界の健康起因事故防止を支援するヘルスケアネットワーク(OC)は、11月2日に「第16回OCHISセミナー」を開催する。今回のメインテーマは「健康起因事故のさ

らなる背景を探る」で、「合わせ技をどうする?SAS・高血圧・生活習慣・働き方等」をテーマに事業者の取り組み事例などを交えて健康起

因事故の防止策を探る。セミナーは、新型コロナの影響で対面での開催が3年ぶりとなる。今回はライブ配信も同時に行う予定だ。

当日は、国土交通省の村上強志安全政策課長が「健康起因による事故防止について」を基調講演するほか、国土交通省事務局自動車事故調査委員会で大原記念労働科学研究所の酒井一博所長が

OCHISからは「健康起因事故の背景と情報の一元化、そして有効活用」をテーマに説明するほか、事業者の取り組み事例として鶴山運送(岡山県津山市)の安全管理者、田村克彦氏が自社の取り組みを説明する。

それぞれの降壇後、パネルディスカッションで中身を深めていく。



2019年に開催したOCHISセミナー

会場は大阪市北区の中央電気俱楽部。午後1時30分から、会場100人、ライブ配信300人、無料。後援は国土交通省、協賛は全ト協ほか日本バス協会、全国ハイヤー・タクシー協会など。参加申し込みは10月26日までにOCHIS大阪オフィスへ(TEL: 06-965-3666)。